

女子短期大学における海外研修制度に関する一考察

森 際 孝 司、鹿 島 我

A Study of Short term abroad programs for women's colleges

Takashi MORIGIWA, Ga KASHIMA

I はじめに

国際化社会の中で次世代の若者を育成するために重要な位置を占める高等教育機関において、世界を意識し、世界を知り、世界に関わっていく能力を育成する必要性が高まっている。

これらを背景に、文部科学省は日本人に対する英語教育を抜本的に改善する目的で、具体的なアクションプランとして『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」（文部科学省 2002）を作成した。

また、経済産業省が 2006 年から提唱している「社会人基礎力」（図 1）で、ビジネスを取り巻く環境や若者が育つ環境の変化に伴い、現代の社会人には「新しい価値創出に向けた課題の発見」「解決に向けた実行力」「異文化と融合するチームワーク」といった基

礎的な能力がより求められるようになってきた。

日本の各大学においても、学生の派遣留学や認定留学が行われてきたが、これらは世界で通用するスペシャリストを養成するために、各自の専門分野について研究が先行している国で修めるのが主な目的であった。最近では、このような国の方針に従って、言語習得のための留学制度も整えられてきている。

今回の研究で対象として考察する家政系・生活系と分類される短期大学では、留学制度自体を有さないものも多い。これには、短期大学ゆえの 2 年間という就学期間の短さと、4 年制大学と比較して専門分野を海外で学ぶ必然性が乏しいためとも考えられる。

このような短期大学における効果のある留学プログラムについては辻野（2003）は、1. 国際コミュニケーション能力の上達を目的とし、2. 在籍留学を可能とし、



図 1 社会人基礎力として必要な 3 つの能力 / 12 の要素 (経済産業省 2006)

3. 留学奨学金を設定し、4. 単位認定を行うことで、留学へのモチベーションを高めると同時に、2年間で余裕のある就学計画を立てることが可能になる留学制度が必要であると考察している。京都光華女子大学短期大学部（以下、本学）では、2002年に短期大学生向けの留学制度を整備し、2003年から留学生を送り出し、成果を出している。

ただ、日本全国での海外留学生数については、近年は減少の傾向にある。文部科学省（2010）によれば、2007年の留学生総数75,156人に対して、2008年は66,833人と8,323人減少し、前年比約11%減であると発表している（図2）。

この海外に留学する日本人の減少については、小林（2011）がその阻害要因として、社会的要因・心理的要因などを挙げて分析している。この中で、社会的要因としては日本の不況による経済的な問題と、学生の就職活動の早期化を問題として取り上げている。また、心理的要因としては日本の若者の「内向き志向」を指摘し、現状に満足し海外生活に目を向けない若者が増えていることが留学生を減少させる原因と示唆している。

また、大学の留学制度についても、「各大学で奨学金制度、単位認定制度、授業料減免制度、事前研修、留学支援、関連カリキュラム、危機管理体制など大なり小なり各大学独自の付随プログラムが用意されてい

るが、本質的にはここ数十年間大きな変化はない。」（小林 2011）と言及し、その原因が国際教育に関わる教職員の（1）国際教育の大衆化の必要性に対する認識不足、（2）脱却できないエリート留学生像、（3）変化している学生需要への対応不足にあるとしている。

短期大学においては、近年はさらに社会や学生が大学に求めるものが変化し、スペシャリスト養成からジェネラリスト養成へとニーズが変化してきている。そこで、本学でも2006年から地域の多彩なニーズに柔軟に応じることを目的とした地域総合科学科として認定された新しいタイプの学科を立ち上げ、人生の目標を明確にし、将来の進路をイメージしながら学ぶことを前提に教育を開始した。本学ではこの学科を、ライフデザイン学科（以下、本学科）と名付けた。

本学科は、設立趣旨のとおり多彩なニーズに柔軟に対応しながら、進化を続けてきた。現在は、フード・住居環境・福祉・エコロジー・ビジネスキャリア・システムデザイン・メディアデザイン・エンターテインメント・留学・大学専門・言語コミュニケーション・トラベル・ファッション・ブライダル・デザインコーディネート・女性の生き方・心の世界など16のフィールドをカバーする学科となっている。

このような変化の中で、外国語習得を主目的とした留学制度とは別に、さまざまな外国文化に触れ、日本での学習の動機づけを高め、自分の人生の目標につい

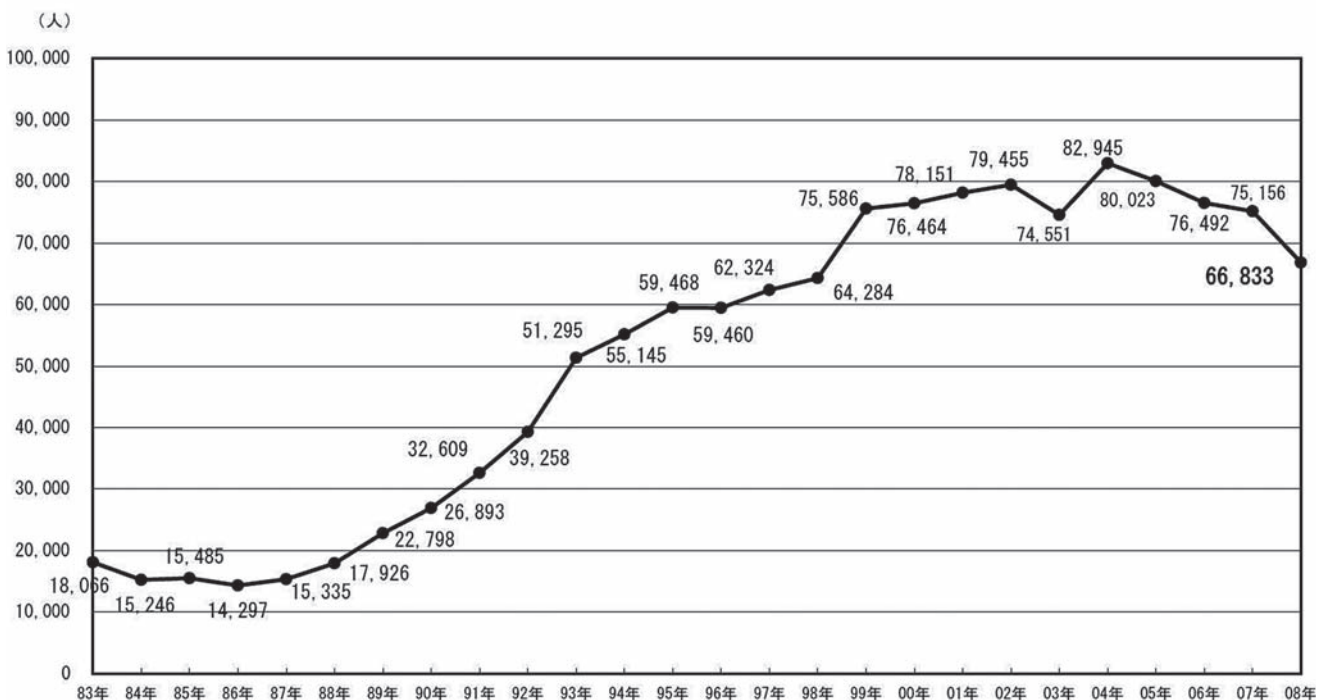


図2 日本から海外への留学生数の推移（文部科学省 2010）

でも考えることのできる海外研修制度の必要性が生じた。

そこで、本研究ではこれらを実現する試みとして、パイロット的に実施した2つの研修(2010, 2011)について紹介し、それらを比較することで、女子短期大学生に有効な海外研修について考察する。

Ⅱ ライフデザイン学科の海外研修

本学科では、海外研修の新しい形として、いわば発着地型研修旅行を選択した。従来の発着地型旅行は、出発地にある旅行業者が企画するパック旅行のことを指す。本学でいえば京都を出発地とするので、京都の旅行会社はその販売規模を生かして、航空券や宿泊先などを一括で安く仕入れることができるメリットもあるが、旅行企画が同じようなものになるというデメリットもある。

一方、最近注目されている着地型旅行は、旅の目的地(本学科の場合はアメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市、カイルアコナ市)の旅行会社が企画するパック旅行を意味する。この場合は、地元の情報に詳しい地元の旅行会社が、独自性の高い企画を提案する。

本学科のハワイ研修では、発着地型旅行と着地型旅行の長所を合体させ、現地の人々の教育への協力を得ながら、旅行会社の提案に依らない研修旅行企画を作成した。

これは旅行業法では従来から手配旅行と呼ばれていたものに該当するが、現地の旅行関係会社や宿泊先の責任者と一緒になって学生向けのプログラムを開発していった点がユニークであると考えられる。その詳細を以下に述べる。

1. 研修地

海外研修の研修地選択で、女子短期大学生を想定する場合に一番大切なのは安全性である。治安や現地の受け入れ態勢、気候などあらゆる面からの検討が重要である。

また一方で研修費用との兼ね合いも重要である。研修費が高額になりすぎると、経済的な理由から、学生が参加を断念することになる。

そして、日本からの学生に対して良好な感情で受け入れてくれる地域が望ましい。最後に、レベルの高い

研修を実施できる環境と体制が必要である。

これらの観点から、世界の民族、気候帯が集まり、本学科の幅広い分野にわたる学習を体験できる場所として、アメリカ合衆国のハワイ州を研修地を選んだ。

日本からはオアフ島にあるホノルル空港に直行便が出ている。そのため、多くの大学がハワイを研修地を選んだとしてもオアフ島のみを訪問することが多い。本研修でも、ワイキキでの滞在で、都市部の生活と仕事について学ぶ必要はある。ただ、ネイバーアイランドと呼ばれるマウイ島・ハワイ島・カウアイ島などは、それぞれ特徴があり、まったく違うハワイの顔を見せてくれる。そこでこれらを対象に、最も効果的な研修を実施できる島を検討した。その結果、日本人が多く移民し、日本からの学生に対して最も暖かく迎えてくれ、研修に献身的に協力してくれることが確認できたハワイ島を研修地として中心に据えることにした。

このような観点から、アメリカ合衆国ハワイ州オアフ島とハワイ島の2島を本学科海外研修の研修地と決定した。

2. 目的

この研修では、ハワイの自然の中で育まれたフード・トラベル・ビジネス・ブライダル・インテリアなどについて学習し、各分野において現地で活躍中の人々を講師に招きレクチャーを実施することによって、さまざまな知識や体験を得ることを目的とした。また、学生企画によるBBQパーティを開催し、現地の人々との交流も深めることを企図した。この研修を通じて、世界を舞台に活躍する人をモデルに、学生一人ひとりのライフデザイン(人生設計)を考える機会とした。

さらに、この研修で得た知識や経験と現地の人々との交流で培った人間関係は、帰国後の大学生活で各分野の勉強や就職活動など将来の進路選択に大いに役立つと考えた。

3. 研修時期と研修日数

研修時期としては夏季休暇、冬季休暇、春季休暇が想定されたが、晴天率が高く、海水温が温かく、波も比較的穏やかな夏季を選択した。また、航空券代金を考慮しても、冬季休暇期間や盆休みの時期はもっとも価格が高騰するので、学生の研修旅行としてはふさわしくない。2月や3月は、アメリカ本土から暖かいハ

ワイでバケーションを過ごすアメリカ人やカナダ人が多くやってくるので、宿泊費などが高騰する。

一方で、アメリカ合衆国は、新年度が9月にスタートするので、この時期に休暇を取る人は少なくなり、宿泊施設も手ごろな価格で確保しやすい。このような理由からも9月初旬がベストであると考えた。

研修日数を決定するために、研修内容と研修場所を効率良く組み込むための工夫をした。オアフ島だけの研修の場合は、3泊5日や4泊6日というのが一般的である。今回はオアフ島とハワイ島の2島を利用するため、6泊8日と設定した。また、1週間程度というのが、学生にとってもスケジュールを無理なく調整でき、日本を離れやすい期間であると考えられる。

4. 本学科海外研修の特徴

本研修では、現地のそれぞれの現場に足を運び、その空気を感じながら見学や体験とともにレクチャーを受けることを基本としたのが特徴である。学生に先入観を与えず、本人が直接感じたものを刺激として、現在の自分を振り返り、将来の自分の目標を考える機会を多く設定した。

また現地でたくさんの人々とふれあい、現地の人と一緒に過ごす時間を設けることで、異文化と融合するチームワークが育まれるようにした。

第1回目と第2回目のハワイ研修の行程表を表1に掲げた。これを基にこの2回の研修の共通点と相違点について詳細に述べることにする。

(1) 第1回目と第2回目の共通点

オアフ島で2泊、ハワイ島で4泊している点は、第1回ハワイ研修も第2回ハワイ研修も共通している。また、宿泊先にキッチンやリビングが備わったコンドミニアムを利用することにより、外国で生活しているような体験ができるようにしている。そして高層マンション型のコンドミニアムでは都会の夜景を見ながら滞在し、一軒家型コンドミニアムではゴルフ場のフェアウェイに沿って立つ豪邸で大きな居住空間を体験させた。

研修内容も、東本願寺ハワイ別院参拝、海外ビジネス系講演会、海洋深層水を用いたアワビ養殖ビジネス、コーヒーの話と焙煎体験、ライフデザインの話など共通しているものが多い。各研修の目的と実施内容につ

いては、考察とともに後述する。

このように基本的に、この2回の研修内容はほぼ同じであるといえる。

(2) 第1回目と第2回目の相違点

この2回の海外研修での大きな違いといえば、まず滞在した島の順番が挙げられる。第1回目はハワイ島に先に宿泊し、第2回目はオアフ島に先に宿泊した。この両パターンを比較することで、学生の満足度が変化することが確認できた。

また、第2回目は宿泊先をもう1か所追加し、第1回目の高層マンション型コンドミニアムと一軒家型コンドミニアムに加えて、高級リゾートホテルにも滞在した。

5. 参加学生のレポート

ハワイ研修に参加した学生からは、それぞれの研修後に「ハワイ研修に参加して」というテーマでレポートを提出させている。これらを紹介し、より良い海外研修について考察する資料としたい。

学生が作成したレポートの一部(10名分)を掲載する。なお、学生の記述を原文のまま掲載するため、語調や文法、記述方法に統一感がなくなるが、この点をあらかじめ了解しておきたい。

(1) 2年生 K.O

私は今回、初めてハワイに行った。何カ月も前からずっと楽しみにしていた研修旅行。1週間なんてほんの一瞬のうちに過ぎていった。

第1日目。ホノルル空港に着いた瞬間、いかにもハワイって感じで一気にテンションがあがったことを覚えている。1泊目は、インペリアル・オブ・ワイキキに宿泊。荷物を置いて、一番楽しみにしていたDFSギャラリー、アラモアナ・ショッピングセンターへ出発。これでもかっていうぐらい買い物をして大満足だった。両手に抱えきれないほどの荷物を持ってホテルに帰り、友達とひたすら騒ぎ、楽しい夜を過ごした。

第2日目。カハラ地区の豪邸見学。すごく立派な家ばかりで感動した。オアフ島のビーチめぐりをして、あまりのきれいさに感動して、それから、この木なんの木で有名なモアナルア・ガーデンパークに移動。1年生が元気に遊んでいる中、私たち2年生は木の陰で

表 1 本学科海外研修の行程表 (2010, 2011)

研修名 京都光華☆海外からライフデザインを考える「ハワイ研修旅行」 8日間				
研修名	スケジュール(2010) 8/30(月)~9/6(月) 2年生10人, 1年生4人, 引率3人	滞在先	スケジュール(2011) 8/29(月)~9/5(月) 2年生2人, 1年生14人, 引率3人	滞在先
	スケジュール(2010)		スケジュール(2011)	
1日目	18:30 関西空港集合 21:00 関西空港発 ----- 日付変更線 -----	機内泊	19:00 関西空港集合 21:25 関西空港発 ----- 日付変更線 -----	機内泊
	10:00 ホノルル空港着 14:00 ホノルル空港発 15:48 コナ空港着 16:40 滞在先に移動 17:00 到着オリエンテーション フリータイム 18:15 スーパーマーケットで食糧調達		10:15 ホノルル空港着 12:00 滞在先に移動 12:30 到着オリエンテーション フリータイム Option ワイキキ歌謡ツアー Option アラモアナショッピングセンターツアー	
2日目	9:00 滞在先出発 9:30-10:30 研修:アワビ養殖ビジネス 11:40 BBQの食糧調達 13:00-16:00 研修:コーヒーの話 研修:コーヒー焙煎&農場見学 16:00-17:00 研修:ハワイのホテル業 17:00-18:00 研修:ハワイのブライダル 18:20-20:00 学生主催のBBQパーティ 20:00 研修:地球と宇宙の話	一軒家型 コンドミニアム (ハワイ島)	9:30 研修:カハラ地区の家邸見学 3軒+オアフ島観光 16:00 研修:モアナアレアパークでのBBQ+ウクレレ 研修:ハワイの大学生との懇親会 19:30 観光:タンタラスの丘・夜景ツアー 21:30 フリータイム	高層マンション型 コンドミニアム (オアフ島)
	9:00 観光:ハバナビーチ & ピクニックランチ 午後 フリータイム Option 14:30-22:00 マウナケアツアー Option 17:30-19:00 夕日鑑賞		9:50 滞在先出発 10:30-11:25 研修:東本願寺ハワイ別院参拝 11:35-12:30 研修:ライフデザインの話 12:45-13:25 昼食 13:30-14:00 ホノルル空港へ移動 15:47 ホノルル空港発 16:30 コナ空港着 17:50 滞在先到着 18:30 研修:マンターク 19:00 研修:ディナー体験 フリータイム	
3日目	午前 フリータイム Option 9:00-11:30 イルカに会いに行こうツアー 12:30-23:30 観光:火山・溶岩ハイキングツアー	一軒家型 コンドミニアム (ハワイ島)	6:30-9:00 朝食バイキング 9:30-10:30 研修:ハワイのブライダル 模擬結婚式 10:30-11:30 研修:ハワイのホテル業 厨房見学 11:30-14:00 フリータイム(ホテルのプールなど) 軽い昼食 15:00 滞在先に移動 フリータイム 17:30 観光:夕日鑑賞 20:00 研修:地球と宇宙の話	高級リゾートホテル (ハワイ島)
	9:00 コナ空港へ移動 12:16 コナ空港発 12:58 ホノルル空港着 13:30 観光:モアナアレアパーク 15:00 滞在先に移動 17:00 研修:ハワイの大学生との懇親会 Option アラモアナショッピングセンターツアー		9:00 観光:ハバナビーチ & ピクニックランチ 午後 フリータイム Option 14:30-22:00 マウナケアツアー Option 13:00-16:00 ウミガメに会いに行こうツアー Option 13:00-16:00 イルカに会いに行こうツアー Option 17:00-21:00 マンタ・ナイツノーケルツアー Option 19:00-21:00 先生シェフによるお任せディナー	
4日目	9:00 観光:カピオラニ・コミュニティ・カレッジ朝市 9:30 研修:カハラ地区の家邸見学 2軒 13:30-15:00 研修:ライフデザインの話 15:30-16:30 研修:東本願寺ハワイ別院参拝 フリータイム	高層マンション型 コンドミニアム (オアフ島)	9:30 滞在先出発 10:00-11:00 研修:アワビ養殖ビジネス 11:40 昼食+BBQの食糧調達 14:00-16:00 研修:コーヒー焙煎&農場見学 16:00-17:00 研修:コーヒーの話 18:20-20:00 学生主催のBBQパーティ 全講師集合 21:00 滞在先到着 フリータイム	一軒家型 コンドミニアム (ハワイ島)
	10:15 ホノルル空港へ移動 13:30 ホノルル空港発		7:00 コナ空港へ移動 9:53 コナ空港発 10:40 ホノルル空港着 13:30 ホノルル空港発	
5日目	----- 日付変更線 ----- 17:00 関西空港着 18:20 解散	----- 日付変更線 -----	----- 日付変更線 ----- 17:20 関西空港着 18:20 解散	----- 日付変更線 -----
	17:00 関西空港着 18:20 解散	17:20 関西空港着 18:20 解散	17:20 関西空港着 18:20 解散	17:20 関西空港着 18:20 解散

休憩。そして、ハワイ大学のアニメ同好会の方たちとBBQをして交流会。みんな日本語を話せていて尊敬した。何よりすごいと思ったのが、日本のアニメの力。やっぱり日本のアニメは海外で有名なんだと身にしみて感じた。夜は、夜景を見にタンタラスの丘へ。日本と違って、電気の色が統一されているのですごくきれいで、あんな所でプロポーズされたいと本気で思った。

第3日目。東本願寺ハワイ別院に参拝しにいった。外観は全然寺のようではなかったけど、中に入ると日本の寺と同じようであった。でも、教会のような感じで椅子が並んでいて、そこは日本とは違うと感じた。東本願寺ハワイ開教監督の峰さんのお話を聞いて、そのあとハワイで不動産業をしておられるヒロコ・ブレンナさんのお話を聞き、人の命は尊いものだとは痛感した。そのあと、オアフ島を離れハワイ島へ。シェラトンホテルに移動。ホテルに着くなり、テレビでよく見るあの花の首飾り(レイ)を首にかけてもらった。シェラトンは、すごくきれいでまさにリゾートホテルという感じだった。そして、楽しみにしていたディナー。みんなでわいわい話しながら、おいしくいただいた。休憩してから、ハイテンションでお部屋のレポートをして、次の日に備えて就寝した。



第4日目。朝から豪華なバイキングで、しかも自分たちだけ外でとても景色がいいところに案内され、ただただテンションがあがり、ここでもハイテンションで朝食レポートをした。ひとつ残念だったのが、起きるのが遅かったせいでゆっくりできななかったことだ。それから、模擬挙式の準備を手伝い、ホテルのチャペルで模擬挙式を挙行了した。リゾート婚には特に憧れを抱いていなかったけど、今回の模擬挙式に参加して、リゾート婚したいと思った。そのあと、ハワイのブライダルについてワタベウェディングの佐藤さんにお話

を聞き、シェラトンホテルの平野さんのお話も聞いた。やはり、日本とは違う面でさまざまな苦勞をされていて尊敬した。少し休憩してからワイコロアへ移動し、コンドミニアムにチェックイン。本当の一軒家のように、感動した。食材を買い出しに行き、コンドミニアム一泊目、記念すべき最初の夕食は、ナポリタンを作った。腹ごしらえをしてから、美しい夕日を見にビーチへ。夕日が落ちてからの空がなんとも言えなくきれいで癒された。そのあと、星を見に行き、ネーチャーガイドの縄田さんに説明してもらった。星空もきれいで感動。

第5日目。朝からハプナビーチへ。波が高すぎるため海に入るのはやめて、ビーチで遊んでいた。たまたま3歳の女の子に出会って、一緒に山をつくったり、泥だんごを作ったりして遊んだ。言語は違うけど、こうやって一緒に遊べることに感動した。でも、ちょっとしか英語を話せなかったのが、もどかしかった。夜は、マンタを見に海へ。そこで問題発生。まさかの船酔いで、途中で海からあがってしまった。でも、マンタを近くで見ることができて、ちょっと怖かったけど感動した。



第6日目。協力して朝食をつくって、ゴルフ場を眺めながらのんびり食べた。それから、アワビの養殖ビジネスについて新井さんにお話を聞いた。あんな広い養殖場を少ない人数で世話していると聞いて驚いた。何より、東日本大震災が起こる少し前に、繁殖用に日本のアワビをハワイに持って帰ってきていたということで、日本では大震災で絶滅した東北地方のアワビがこのハワイ島で生命をつないでいるという、なんともいえない気持ちになった。そのあと、UCCハワイ農園へ移動。コーヒー豆の栽培と焙煎を体験させても

らった。コーヒーの農園に入ったのは初めてで、コーヒーの実をとってそのまま食べるなど、普段できない貴重な体験をさせてもらった。また焙煎をしたのも初めてで、コーヒーはこのようにして作られているんだと知った。最後に、学生が主催するBBQパーティをした。友達とひたすら野菜を切って、大変だった。でも、現地でとれたフルーツの差し入れをいただいたり、手伝っていただいたりして、なんとか全ての野菜を切り終え、おいしいご飯にありつけた。豪華なBBQになり感動。食べたあとは、ゲームをして、なぜか友達とふたりで勝ちすぎてしまい、景品泥棒になってしまった。いい思い出だ。

第7日目。ついに、ハワイとさよなら。普段体験できないことを体験できたり、海外で頑張っておられる方たちのお話を聞いたりできて、本当に勉強になった。一番思ったことは、もっと英語を話せるようになりたいということだ。英語が話せなくても、そんなに不便に思うことはなかったが、話せるようになればもっと楽しくなると思う。私はこの研修旅行でさまざまな刺激を受けたので、来年度以降もこのような研修旅行を計画したほうがいいと思う。卒業してからでも、参加させてもらいたいぐらいだ。これから、お金を貯めて、さまざまな国に旅行したいと思う。

(2) 1年生 Y.I

ハワイではたくさんのことについて学びました。

まず初めに、ハワイの東本願寺を参拝して日本と全然違うことに気がつきました。日本の床は畳ですがハワイはフローリングでした。椅子は繋がっていて教会みたいな雰囲気でした。見た目もお寺みたいな感じではなく普通の一軒家みたいな感じでしたが、置物などは日本と少し似ていました。東本願寺のお話を聞いた



後に、ヒロコ・ブレンナさんのお話を聞きました。

お話を聞いて家族の大切さを改めて実感しました。私くらいの年齢では、やはり家族の大切さについて普段からあまり考えないので、大切さについて考えるいい機会になりました。またヒロコ・ブレンナさんの他のお話も聞いてみたいです。



ブライダルのお話では海外結婚や挙式の準備・進め方などについて教わりました。やはり海外結婚は多いそうです。ウェディングドレスは海外の結婚式場で借りられるが、日本から持ってくるという人もいてビックリです。海外にもたくさんのウェディングドレスがあって、やはりAラインのドレスやボリュームがあってフリルのついたドレスが人気だそうです。海外の挙式は雰囲気もすごくよくて景色が綺麗でした。女の子はみんな憧れるところだなと思います。ホテル業界のお話では、おもてなしが大切だということ。お客様のことを第一に考えて、喜んでもらえるようにおもてなしをすることが大切ということを学びました。

アワビ養殖ビジネスではアワビの大切さ、新鮮なまま出荷することや、アワビはどのように成長するかなどについて学びました。コーヒー農園ではコーヒーを煎る体験をさせてもらったり、コーヒーがどのようにできるかについて学びました。コーヒーが、見た目グミみたいで少し甘いことから、茶色くて苦いコーヒーになることにとてもびっくりしました。日本では経験できない事や学べない事ばかりですごく勉強になり、今後何かの役に立つといいなと思います。

後半の3日間はコンドミニウムで6人で生活しました。私の住んでいたところは螺旋階段があり、すごく可愛らしいお部屋でした。部屋は3つずつあり、お風呂とトイレは2つあります。螺旋階段を上がった部屋からは全体が見渡せて雰囲気もとてもよかったです。

ベランダもあってそこからは景色もよくて朝ご飯を食べるのに最適です。朝ご飯は各自で作らないとだめなので、皆で近くのスーパーに行って買出しです。スーパーも日本と違ってすごく量が多い割には値段が安かったり、たくさん品揃えがありました。私のところは、1日目はハンバーガーで2日目はホットケーキを作りました。あと、フルーツもありました。ハワイはいろんなフルーツがあり、すごくおいしかったです。量が多いけれど大人数で分けたらいい感じの量になりました。

夜はお風呂は2つしかないので、皆順番に行きました。お風呂は日本と違ってシャワーは自分で持つのではなく固定されています。あと温度調節が難しかったです。一つの部屋は湯船とシャワーが一緒でしたが、もう一つは別々に分かれていました。キッチンはずごく広くて、リビングも広いので生活しやすかったです。同じ部屋の人とも前より仲良くなれたのですごく楽しかったです。

ハワイ研修ではたくさんのことを体験したり、ハワイでしか見られないものを見たり、本当に私の人生に何か影響を与えてくれたと思います。

体験ツアーで私はマウナケア山頂・夕日と星のツアーに参加しました。山頂に着いて、ハワイとは思えないくらい寒かったけれど、寒さも忘れるくらいすごく夕日がいっぱいでした。日本では見たことがないくらいすごくきれいで、見とれてしまってすごく感動しました。夕日の後は星を見たんですが、日本では見られないくらい、プラネタリウムみたいに空いっぱい星があっけなく感動的でした。私は星がすごく好きなので、ここにずっと居たいなと思うくらいすごくきれいで、星座もはっきり見えて、天の川も見れました。日本もこのくらい星が見られたらいいのになと思います。

ハワイでたくさん元気をもらったし、またこれからたくさんいいことがあったり嫌なことがあったりすると思いますが、これを励みに頑張りたいと思います。ハワイで学んだことを自分の人生に何か役立てばいいなと思います。

ハワイ研修はハワイでしか経験できない事がたくさんあるので、また来年以降もハワイ研修の計画をしてほしいです。後輩になる子たちにも、私と一緒にように感動的な経験をしてほしいし、海外でしか学べない

事を学んでほしいです。海外に行ったことが無い人がほとんどだと思うので、初海外でハワイはとてもいい経験だし、日本語も通じる場所は通じるので少し安心するのではないかなと思います。海外でのお金の使い方や買い物の仕方などもいい経験になるのではないかなと思います。ハワイは誰もが憧れているところだと思うし、とても素敵なお店だったので、また私も行きたいと思います。またハワイのきれいな夕日や星空を見たいです。今回のハワイ研修旅行の楽しい計画、ありがとうございました。

(3) 1年生 M.O

ハワイ研修では、さまざまな研修があり、どれもいい経験をさせていただきました。そのなかで印象に残っているのが2つあります。1つ目はヒロコ・ブレンナ先生の話です。プレゼンテーション概論の補講で1回話を聞いているので今回は2回目です。1回目ときの話も心に響く何かがあり、とても良かったので今回も楽しみにしていました。ヒロコ先生の人生の話聞いて、いろいろ感じました。自分のやりたいことが明確で、それに対して一生懸命にやるヒロコ先生はすごいと思いました。日本は基本的に年功序列だけど、アメリカは頑張れば頑張るだけ評価してくれるということも初めて知りました。1人で海外に来るのはとても勇気があることだし、言葉や習慣の違いもあり大変だったと思います。でも、成功したのは先生が逃げずに立ち向かったからだと思います。ハワイに来て3年間は「thank you」「ok」「yes」の3語だけで生活していたのを聞いてびっくりしました。そこから英語を勉強して話せるようになったのも驚きです。あと、ヒロコ先生のお母さんが病気になった時の話はとても胸が熱くなりました。きょうだい3人で交代しながら日本に行ったり、3人が同時に会話できないから交換ノートをしたり、家族の絆を感じました。私も妹が1人いますが、小さいころはよく喧嘩もしたし、1年ぐらい話さなかったこともあります。ヒロコ先生も言っておられたけど、それは時間の無駄だと思います。家族の繋がりはなくなることはないし、大切にしないといけないと思いました。また、「こうしてきょうだいなれたのは、お母さんが産んでくれたおかげ」っていうのも実感しました。何億人の中から妹と私が姉妹になれたのは奇跡であり、運命かもしれないと思



ました。あと、ヒロコ先生のお母さんの「あなたの人生の時間ですから、私のためにその時間を使わないでください。」という言葉にも感動しました。私は先生の話聞いて心に響くものがあり、少し考え方が変わり、これからの人生について考えました。逃げずに立ち向かえば、後からその成果は出てくるし、成功するのではないかと思いました。また、家族の大切さや無駄な時間を過ごさないことなどいろいろ思いました。

2つ目はウェディングの話です。模擬結婚式をしたときに3人の友達がウェディングドレスを着ていましたが、本当の結婚式の花嫁のように綺麗でした。まだ19歳だから、結婚なんてまだまだ先の話で何も考えていませんでした。でもこの研修で、ハワイの綺麗さ、海外の結婚式もいいなと思い、私の結婚式はハワイでしたいと思いました。私は海外で結婚式をするということは、費用が高くて無理だと思っていました。佐藤先生の話聞いて、意外と安いということも分かりました。まだ1回も結婚式に出席したこともないので、誰かの結婚式に行ってみたいです。

研修ではないけど、最後の3泊はコンドミニアムで過ごしました。友達5人と一緒に、始めは話したこともない人だらけでした。仲良くなれるのかとても不安でした。でも、そんな不安も忘れ、3日間楽しく過ごせました。生活面では日本で泊まるときにはない、キッチンや洗濯機がありました。テレビもリビングと各部屋にあるし、シャワーやトイレも2つずつあり、快適に過ごすことができました。ホテルで泊まるのではなく、普通に誰かの家でルームシェアしているみたいな感覚でした。3日間コンドミニアムで過ごして、アメリカの生活を味わうことができました。旅行で来たらホテルにしか泊まらないので、とてもいい経験になりました。あと、B班は6人もいたから何かと協力的に

できたので良かったです。B班はとても仲良く、いつも集合時間には1番で集合していました。車の中の会話も楽しかったです。3日間ずっと一緒に過ごしていたので、ハワイから帰るときはものすごく寂しかったです。

私は海外に行くのは2回目でした。1回目はオーストラリアに行き、今回がハワイです。世界には、たくさん国があるので、これからもっといろんな国に行きたいです。私は各国でいろんな習慣や文化の違いを体験したいと思っています。日本から出て、日本との違いも分かることができると思います。海外に行くと、やっぱり日本がいいなと改めて気づく部分も出てくると思います。その考えをみんなに分かってほしいと思います。初めて海外に行くのは不安もあるし、自分で企画するのも大変だと思っている人が多いと思います。だから、学校からの企画だと安心して参加できると思います。だから、このハワイ研修は来年からも続けて実施してほしいと思います。このハワイ研修は研修だけではなく、ショッピングや現地の学生との交流もあってすごくいい8日間でした。私は今年、ハワイ研修に参加して本当に良かったと思います。友達もできたし良かったです。そして、私はこの研修に行ってハワイが大好きになりました。また来年も行こうと思っています。8日間のハワイ研修は長いようで短かったです。

(4) 1年生 M.K

私は8月29日～9月5日までの6泊8日のハワイ研修に参加した。もともと外国に憧れていて、留学よりは予算的にも断然良いと思ったので、親にお願いをして参加することに決めた。初めての海外ということで楽しみより、不安や緊張の方が大きかった。

デルタ航空に乗り込み長い飛行時間を経てたどり着いたハワイは、雨が降っていたせいでじめじめしてて暑かった。しかし暑さにも負けず、ハワイ上陸記念に友達と写真撮影。そのあとバスに乗ってホテルに向かい、荷物を降ろしてからホテル周辺を散歩した。ワイキキビーチにはたくさんの人がサーフィンを楽しんでいたり、真っ黒に焼けた外国人がいたりで、ハワイに来たんだなと実感させられる散歩だった。洋画に出てきそうなお洒落なバスや、ビーチに並ぶヤシの木は眼だけで楽しめる光景だった。夕方からはアラモアナ・

ショッピングセンターへ行った。ここはハワイー大きなショッピングセンターである。広いし、お店もたくさんあるので、店を回るのがすごく大変だ。しかし時間内には買い物も終わり、満足のいく買い物できた。ショッブ袋を何個も腕にぶら下げている子もいた。そして皆でホテルに戻って1日目は終了。

2日目は、バスの運転手ジョニーの案内でオアフ島をまわった。まず3軒の豪邸見学をした。どれも大きくて広くてきれいで、プールが付いていて、お風呂やトイレは何個も付いていて、家具はすべてお洒落で…、誰もが憧れる家だった。

豪邸見学のあとは、オアフ島 No.1、No.2 のビーチを訪れたり、海を眺めたりと、とても楽しくてテンションの上がるオアフ島ツアーで、デジカメは欠かせなかった。バスに揺られているとつい眠くなってしまいがちだが、寝る暇も惜しむくらい綺麗な景色の連続だった。夕方にはモアナ・ガーデンに着き、みんなで日立の木をみた。そして、現地の大学生と共にBBQをして楽しい食事をした。帰りはホノルルを一望できるタナラスの丘から夜景をみて、ロマンチックな気分で2日目は終了した。



3日目は朝から東本願寺ハワイ別院に参拝した。一見、普通の白い建物だが、中は立派な仏像のある、日本と何ら変わらないお寺だった。畳ではなく椅子が並べてあり、少し教会風になっていた。そこでは開教監督の峰さんのお話と不動産会社社長のヒロコ・ブレンナさんのお話を聞いた。ブレンナさんの涙ながらに語られた家族との絆の話が印象的で、他人事ではないなと思った。自分も大人になったら家族の絆に気づけるのだろうか、しみりとした。仕事面の話では、ハワイやアメリカの方がしっかりと評価してもらえると

聞き、少し視野が広がったような気がした。二人の話を聞き終えたあとは、昼ごはんを食べて、それから空港に向かい、ハワイ島へと飛んだ。ハワイ島の空港は想像していたよりも小さかった。空港からは可愛らしいスクールバスで移動し、宿泊先のシェラトンホテルに向かった。荷物を置いてから、マンタトークとディナーを楽しんだ。ディナーはコース料理で、すごく豪華だった。先生に料理のレポートを頼まれたが、恥ずかしかったし、うまく伝えられなくて悔しかった。そしてあっという間に3日目は終了した。



4日目は朝から模擬結婚式をした。ウェディングドレスを着た3人はとてもとても綺麗で模擬結婚式にも関わらず、見ているだけで心がほっこりした。講師の佐藤さんのブライダルの話は私も遠い話ではないかなと思ひ、いつも以上に真剣に聞いた(笑)。日本で挙式するより、ハワイで2人で挙式して、ついでに新婚旅行した方がお得ということ。ハワイの方が、雰囲気がお洒落で素敵だということ。女の子だからこそ興味が湧くブライダルの話は、聞いてよかったと思った。ホテル業界について話された平野さんの話もおもしろくて興味深かったが、海外で成功される皆さんは多分もともと大金持ちなんだろうなと思った。お金がないと海外に行くという選択肢はないと思うのだ。お金があるから留学もできたり、海外に住むこともできたんだと思う。ならば、大金持ちでなくても、やればできるんだってところを見せつけたい！のし上がってみたい！と少し燃えた。昼からはフリータイムだったので、友達とホテルのプールで遊んだ。スライダーやジャグジーがあってすごく楽しかった。夕方からは Condominiumへ移動した。私の班はB班で、6人いたのでロフト付きの広いユニットだった。荷物だけ置いて、み

んなで夕日を見にビーチへ向かった。夕日が沈むまで私は友達と、砂浜に文字を書いて遊んでいた。たくさん写真も撮った。夕日の綺麗な写真も撮れたし、アートのような写真も撮れたし大満足だった。そのあとは、場所を移動して講師の縄田さんに、地球と宇宙の話をしていただいた。すごく星がきれいに見える場所だった。初めて流れ星も見ることができて嬉しかった。帰りにスーパーマーケットに寄って、2～3日分の食料を調達。

5日目は、朝から早起きして自分たちで自炊した。ハンバーガーを作った。そして待ちに待った海水浴！ハプナビーチで泳いだ。しかし波が高く、溺れそうになる子が続出。目は痛いし、鼻は痛いし、喉も痛いし…散々な海水浴だった。昼からはヒルトンホテルのイルカを見に行った。なかなか写真におさめるのは難しかった。ホテルの中はまるで動物園の様で、ウミガメやフラミンゴ、ゾウガメなどもいておもしろかった。夜は先生シェフによるディナー。アワビのお刺身やシーフードパスタがおいしかった。そして5日目が終了。

6日目は朝からアワビの研修に行った。昼からはUCC農園で収穫と焙煎体験をした。初めてコーヒーの匂いが良い香りだと思った。そのあとは室内に移動して、学生企画のBBQパーティをした。ハワイ島でお世話になった講師の佐藤さんや縄田さんにも来ていただいて30人程で食事をし、研修最後の夕食はとても楽しい時間となった。そのあとジャンケン大会が開催されて学生一同大盛り上がりとなった。そして6日目も終了。

7日目はみんなハワイを惜しみながらも飛行機に乗り、日本に無事帰国した。

あっという間の6泊8日で、ホームシックにもならず毎日が充実していた。喋ったことのない子とも仲良くなれたし、仲良かった子とはもっと仲良くなれたし、また新しい思い出が作れて良かった。日本を出て、外国の地で、外国の文化に触れ、とても良い経験ができたと思う。また絶対ハワイに行きたいと思った。最高のバカンスをありがとう、ハワイ。

(5) 1年生 A.D

私は海外に行くのが初めてだったし、英語も喋れないから最初はとても不安でした。でも、ハワイの人は

とても親切でフレンドリーで日本語が話せる人もいたし、安心しました。ハワイ研修では、海外で活躍する日本の方からさまざまな分野のお話を聞くことができました。講師の方から聞いたお話はすごく心に残ったし、視野が広がったような気がします。3日目は東本願寺ハワイ別院での研修でした。ハワイの東本願寺の外見は日本みたいにお寺っぽくなかったし、本堂に飾ってある花も日本とは違ってカラフルだったし、教会にあるような長いイスがたくさん並んでいたのも、日本と欧米の文化が混ざっているような気がしました。

ヒロコ・ブレンナさんは、「生と死」についてお話していただきました。生きていられるときにできることをやっつけてしまおうという思いが伝わってきたし、ものすごく考えさせられました。家族のことを涙ぐみながらお話されているときは、私も涙が出そうになりました。ヒロコ・ブレンナさんのお母さんがおっしゃる「今日も有効に時間を使えましたか？」という言葉がとても印象に残っています。また機会があれば他のお話も聞いてみたいと思いました。

4日目は、一番興味があったハワイのブライダルでした。実際使用されているチャペルを使って模擬挙式ができたのがとても嬉しかったです。ウェディングドレスを着ると背筋も自然にスツとなるし、自然に笑顔にもなれました。私の場合、身長が低いので高いヒールを履いて、ドレスを踏まないように歩かないとだめで、花嫁さんって意外と大変なんだなって思いました。模擬挙式を通して、花嫁さんの気持ちやハワイで人気のドレスやプランなど知ることができたのでよかったです。私は将来、ブライダルプランナーになりたいと思っているので、この経験を生かしていけたらいいなと思いました。ハワイのホテル業界についても興味があったのですが、花嫁衣裳を着替えに行くために聞けなかったのが残念です。

地球と宇宙の話では、わかりやすく星座などの話をしてもらいました。自分の星座の話が聞けてよかったです。本当にハワイは星が綺麗で、流れ星もいっぱい流れるし、綺麗な環境なんだなと感じました。

コンドミニアムでの宿泊は、グループでの生活だったんだけど、自分達でご飯のメニューを考えて、買い物に行って、作ってという感じで、ルームシェアをしているみたいで楽しかったです。部屋はとても広くて、

ベッドもソファも冷蔵庫もでかくて、すべてがビッグサイズでびっくりしました。コンドミニアムで生活しているときに感じたことは、当たり前なことだけど、全部英語で書いてあるし、ご飯を作るときとか、洗濯機を回すときとかものすごく戸惑いました。そのたびに先生に来てもらって教えてもらっていたので申し訳なかったなって思いました。コンドミニアムはホテルと違って、キッチン、お風呂、リビング、ベッドルームなどすべてが揃っているので、自分の家みたいな感じで1つ1つの部屋も広いかからゆったり過ごすことができるのが良かったです。

5日目はハプナビーチに行きました。私は海が大好きなので、たくさんのビーチに行けたことに感動しました。ハワイのビーチはどこに行ってもゴミ一つ無いし、砂も白っぽくて海も透き通っていて綺麗でした。ハプナビーチは波が高くて、浮き輪をしても波にのまれて2回転して死ぬかと思いました。世界3大パワースポットに入っているというビーチは、波もなくて魚も泳いでいて一番綺麗でした。ウミガメも見られたし、なによりパワーを貰えたような気がします。そんなところで泳げたのが嬉しかったです。

その日の夜は先生シェフのディナーを食べながら話すっていう時間がありました。こんな機会のはめったに無いし、サプライズパーティも成功したし、とても良かったです。ハワイでみんなに誕生日を祝ってもらえるなんて羨ましいです。

6日目は、まず海洋深層水を用いたアワビの養殖ビジネスについて新井さんにお話をいただきました。アワビの養殖場では、アワビを出荷するまでの行程を詳しく教えてもらいました。新井さんの仕事ぶりはとても素晴らしくて、これからの私たちへ向けての言葉



が心に残りました。

UCC ハワイ農園では、コーヒー豆の収穫や焙煎体験をしました。コーヒー豆の収穫も焙煎も初めての体験で、まずコーヒー豆を見たのが初めてで、それを栽培して、焙煎もして、自分のコーヒー豆ができてとても嬉しかったです。

夕食で学生が企画したバーベキューパーティーで、私たちはおにぎり担当だったんだけど失敗しちゃって、最後の最後まで迷惑かけっぱなしでした。じゃんけん大会など、とても盛り上がったし、お世話になった講師の方々と交流を深めることができたんじゃないかなと思いました。

このハワイ研修はとても内容の濃い6泊8日になりました。たった8日間という短い時間だったけど、ハワイが大好きになったし、日本に帰りたくなくなりました。ハワイ研修に参加して、いろんな体験をすることができたと、研修以外でもたくさんのビーチに行ったり、買い物をしたり、夜景や夕日を見に行ったり、食べたり、楽しいこと尽くしで、一生忘れられない思い出になりました。なかでも、模擬拳式ができたことが一番の思い出です。この研修で学んだことを生かして、これからの自分の進路につなげていけたらいいなと思いました。また、来年もあるなら是非行きたいです。

(6) 1年生 K.T

初めての海外ということですのでごく楽しみにしていました。

1日目の研修では、DFS ギャレリアやアラモアナ・ショッピングセンターに行きました。いろんなお店を回りましたが、海外の方はすごく気さくで、すれ違いに「アロハ」と言ってくれたり、「エンジョイ」と言ってくれたり、日本ではあまりないことだったのでびっくりしたし、誰にでも気軽にあいさつを交わすのはいいなあと思いました。また、お店の人が小銭の使い方を教えてくれました。

2日目の研修では、豪邸見学で1億円以上もする家やプール付きの家を見て、すごく圧倒されました。日本にはまず、こんな大きなプールが付いている家がないので「本当にここに人が住むのかあ」と考えると不思議で羨ましく思いました。この木なんの木で有名な木は、HITACHIの看板もちゃんとあって、実際見る

とカメラになかなか収まりきれないくらいの大きさで、とても葉の緑が綺麗でした。ハワイ大学の学生との交流は、英語が喋れないのに大丈夫かなあと感じていましたが、日本のアニメの話やジェスチャーで少し話せてよかったです。パイレーツ・オブ・カリビアン
の新しい映画で人魚の涙をみましたか？というのが伝わって少し話げたのは嬉しかったです。言葉は通じないけれど、表情やジェスチャー、伝えようとする気持ちが大事だと実感しました。

3日目の研修では、ハワイの東本願寺を参拝し、ヒロコ・ブレンナ先生のお話を聞きました。話では、きょうだいや家族と離れ離れで、きょうだいとも会うことがなかったのに、それを母が引き合わせてくれたということ。病気になった母が、きょうだい三人の絆を確かめてくれたと聞きました。何十年もかかったけれど、やっと立派な大人になった時に家族の温かみや大切さが身に沁みます。少し重なる部分がありました。今は、家族の絆とかそういうのがよくわからないけれど、今できること、親孝行や、きょうだいとも連絡をとって後悔しないように家族を大切にしようと思ったし、ヒロコ先生の話聞いて良かったと思いました。

4日目の研修では、ハワイのブライダルについてのお話やホテル業界のお話を聞きました。模擬結婚式も見ることができました。ハワイでの挙式は、とてもロマンチックで景色がとてもきれいなので、すごくいいなと思いました。質問のコーナーでハワイでの挙式をされる方が増えているのと値段も想像していたより安くできるプランがあったり、海外での挙式は皆があこがれます。私もいつかハワイで結婚式を挙げてみたいなと思いました。

ホテルの業務では、やはり英語が話せるということ、お客様に最高のおもてなしと満足して帰ってもらうということをお聞きしました。中学、高校の時は、英語なんか必要ないと思っていたけど、やはり仕事をするにあたり英語を学んでいたほうが良いと思いました。短大の授業でも英語を学ぶ授業を履修しようかなと思いました。夜は星を見に行きました。こんなにじっくり星を見るのは小学生以来なのですごく新鮮でした。天の川がすごくはっきり見えて、私の誕生星座の乙女座も見ることができました。さそり座は、すごくわかりやすく、やかんの先から天の川が、お湯のように



こぼれているように見えると聞いてすごくロマンチックで、夜空いっぱい星を見ることができてとても感動しました。コンドミニアムでは、高級ホテルに住んでいるような感覚で、中はとてもきれいでした。日本で言うルームシェアの広い版みたいな感じでとても楽しかったし快適でした。

5日目の研修は、ハプナビーチに行きました。泳ぐのはとてもワクワクしましたが、波が怖かったです。外国の方は、浮輪なしでボディボードを楽しんでいたの、慣れてるなと思いました。浮輪に乗って波に乗るのは、すごく楽しかったです。ウミガメに会いに行くツアーでは、子どものウミガメを二匹見ることができました。ハプナビーチとはまた違った波のない海で、透き通っていてとてもきれいでした。先生たちに料理していただけるディナーでは、アワビ、スパゲティ、ステーキ、とても美味しかったです。アワビのお刺身は初めて食べたけど、新鮮で美味しかったです。

6日目の研修では、アワビの養殖見学、UCCの焙煎体験をしました。アワビは、養殖ビジネスを編み出すのに10年はかかったという話を聞いて、アワビの養殖の大変さも同時に学ぶことができました。アワビの赤ちゃんは小さくて、これが成長して高級食品に変わるのかと思いました。貴重な見学をさせていただきました。UCCでは、焙煎体験をさせていただき、とてもいい香りに包まれて楽しく体験ができました。コーヒーの花も見ることができて、コーヒーになる前の木になっている実はコーヒーチェリーと言ってフルーツとしてたべることもできるとお聞きしました。学生主催のバーベキューでは、研修でお世話になった方を交えてゲームやプレゼントをいただいてとても楽しい時間を過ごすことができました。

今回の研修で、改めて海外の良さ、日本の良さを実

感することができました。今回の研修で学んだことも多く、たくさんの経験が今後の人生に役立つことになると思います。この研修を通していろんな国をもっと知りたいと思うことができたので、来年度以降もこのような研修を行って、皆に海外の良さや経験をしてもらいたいです。

(7) 1年生 A.N

私はこのハワイ研修で、初めての海外、初めての飛行機だったので、出発前からすごくドキドキしていました。行きの飛行機では居心地になれてなかったので、全然深い眠りにつけなかったです。もう少しで着陸するというときは、これから始まるハワイ研修旅行が楽しみで仕方なかったです。ホノルル国際空港の外に出た瞬間は、天気が良くて青い空がすごく綺麗だったのが印象的でした。そのときはあまりハワイに来たのだなと実感しなかったけど、ホテルに向かう道中や着いてからは、本当にハワイなのだなと実感しました。ホテルの部屋は綺麗だったし、ベランダから見える景色もすごくよかったです。このホテルには2日間だけ泊まったけど、そのベランダはお気に入りの場所になりました。先生と一緒に行くワイキキビーチへの散歩のときは、水着を着た人が普通に道を歩いているのには日本で見ないことなのでびっくりしました。楽しみにしていたアラモアナ・ショッピングセンターは想像していたよりものすごく広くて、先生が言っていたように本当に時間内では見足りないぐらいでした。またハワイに来たときはゆっくりと見に行きたいなと思いました。

2日目の朝は寝坊して、部屋についているキッチンを使うことなく、急いで買ったパンを食べて用意しました。楽しみにしていた豪邸見学は、自分の家とはくらべものにならないぐらい広くてきれいだったので、どの豪邸も本当に住みたいなあと思いながら見ていました。部屋においてあるソファや家具などは、どれも部屋の雰囲気にあってかわいかったです。プールがついている豪邸もあったりして、将来お金持ちになれるのならこんな家に住みたいなあと考えていました。その次に行ったビーチは、なんていったらいいのか分からないほど綺麗で感動しました。海の色は青じゃなくて黄緑色のように、グラデーションがかかっています。本当によかったです。この日、ハワイに来たら

絶対に食べようと言っていたロコモコも食べることができました。この木なんの木で有名な木の近くでのハワイ大学の人のBBQは貴重な体験だったけれど、英語で喋るとするのは難しいことだなと改めて感じました。夜の夜景ツアーは本当に綺麗で、その景色を忘れないようにしっかり目にやきつけておきました。1日目、2日目に泊まったホテルは、近く買い物できるお店が色々あるから、いい場所だったなと思います。

3日目の東本願寺ハワイ別院参拝は、ハワイなのに中に入ると日本にいるみたいな空間だったので不思議な感じでした。京都に住んでいてもまったく行くことのないお寺に、ハワイで行くことができ、貴重な体験ができたと思っています。お昼にはおいしいお弁当をいただいて、東本願寺の方とすこしお話したとき、すごく優しい方なのだろうなと感じました。ひそかに楽しみにしていたヒロコ・ブレンナさんのお話は、自分自身について考え直すきっかけになりました。私は海外で頑張っておられるヒロコさんからすごく魅力を感じました。

他にもこの研修旅行で、海外で活躍されている日本人の方から話を聞いて、自分も目標を決めて頑張らなければいけないなという意欲がわいてきました。海外で活躍されているみなさんは本当にかっこよかったです。

ハワイ島でのコンドミニアムの3日間は、まるでハワイの自分たちの家のように宿泊を味わえて楽しかったです。部屋の中もキッチンもすごく広くて、お風呂やトイレも2つあって驚きました。私の家は両親がお店をやっている、キッチンというのが無いのでいつもあこがれていたけれど、コンドミニウムで体験できておもしろかったです。帰る日まで友達と「このまま住めそう!」と言っていたぐらいよかったです。ホテルとかでお風呂とトイレが一緒なものにはなかなか慣れなかったけれど、コンドミニウムは別々になっていてちょっと嬉しかったです。

今回の旅行で結構大きく印象に残っているのが、オプシオンのマンタ・ナイト・スノーケルツアーです。夜の海に行くということですがすごく恐かったけれど、マンタを見たときの感動はすごかったです。思っていたより何倍もでかく、すごく近くまで寄ってきて口みたいなのがあいているから食べられそうで恐かったです。でもあんなに近くで見るとはもうないと思うか

ら、貴重な体験をできたと思うし、マンタが現れてきてくれたことが本当によかったです。今回の海外研修へ行って、ずっと興味があった留学をしたいという気持ちがまた強くなってきました。今はお金をためて30歳までに留学できたらいいなと思っています。そしてやっぱり英語は喋れるようになりたいなと思いました。単語で言っても通じるけれど、英語で喋れた方が本当に思っていることも伝わるのだろうなと思いました。だから英語の勉強がまだまだ必要だと感じました。海外研修は、どの日も本当に楽しくて、最後の日は日本に帰るのがすごく嫌でした。思い出もたくさんできました。だからぜひ来年も先生たちに計画してほしいと思います。普段、日本では体験できないことができたし、何よりも楽しかったからです。私の初めての海外旅行がハワイで本当によかったです。また友達だけでも絶対に行きたいと思います。

(8) 1年生 Y.M

ハワイ研修に参加して、私は多くのことを学び、感じる事ができた。ハワイの方はとても優しい方ばかりで、ハワイに来てまず人の温かさを感じた。また、実際に英語で話をし、少し聞き取れたことが本当に嬉しく、英語で話すことの楽しさに気づいた。しかし、伝えたいことをなかなかうまく伝えることができなかった時もあり、もっと英語を話せるように英語の勉強はこれからも続けていこうと考える。

そして、ハワイにおける観光や産業、ウェディングについての研修すべてからホスピタリティマインドなど、大切なことも学べた。コーヒー農園で豆を収穫し、焙煎体験を通してコーヒーについて学び、アワビ養殖では初めてアワビを見た。アワビは最初とても小さく何か月もかけて大きくさせることや、アワビだけでなくアワビのえさとなる海藻も育てていることを知った。このような長い大変な作業を終えて、私たちはおいしいアワビやコーヒーをいただけるのだと実感した。また、ホテル業やブライダルの話はとても興味を持って話を聞くことができた。ウェディングドレスは、どれもとても素敵だった。ホテル業は何人ものスタッフで構成されていることが分かった。平野さんの話は、ホテル業に興味を持っていた私にとって、憧れの気持ちを持った反面、厳しさも教わった。これらの研修すべてにおいて、とても貴重な体験だったが、特に私に

とってプラスとなった研修は、ヒロコ・ブレンナさんの話だった。生と死という難しい課題の話だったが、とても考えさせられた内容だった。今、自分が生かされているこの時間を、無駄のないように生きていきたいと改めて感じた。ヒロコ・ブレンナさんのように、自分に正直に生きていこうとも思えた。

そして、私が一番印象に残っているのは、マウナケア山頂、夕日と星のツアーに参加したことだ。お昼頃から、旅行会社の方にコンドミニアムまで迎えに来てもらい、バスで移動し山頂に向かう途中、ハワイ島の面積のうち多くを占める大きな牧場に立ち寄った。馬や鳥、ヤギなどたくさんいて、実際に馬にエサをあげることができた。また溶岩の大地を歩くこともできた。溶岩が流れた後があって、自分がここに立っていることがすごいことだと感じた。その後、他のツアー参加者の方とも合流して山頂に向かった。マウナケアとは雪の山という意味のように、山頂に近づくと寒くなりハワイとは思えないほどとても寒かった。2時間ほどの移動だったが、気づくと標高4,000メートルの位置に居た。いつの間にか自分が雲の上にいることに気持ちが高ぶっていた。雲の上からの夕日は、あまりのきれいさに見とれてしまい、すごく感動した。すぐに太陽は沈んでしまったが、あの光景は忘れることはないだろう。

夕日の後は、少し下山して星を見にいった。今まで見たこともない夜空一面の星で、とてもきれいだった。初めての流れ星、天の川をハワイで見ることができて、とてもうれしかった。また人工衛星が地上から見られることに驚いた。私たちに馴染みのある誕生星座を実際に見ることができて、星座にまつわる話など聞いて初めて知ったこともたくさんあった。

このツアーに参加して私は、初めての経験をたくさんすることができた。実際に自然の美しさやエネルギー、広大さに感動を味わうことができた。日本では決して見る事ができない光景を見ることができ、とてもいい思い出になった。

また、私たちが一緒に暮らしたアメリカン・スタイルのコンドミニアムの生活はとても楽しいものだった。コンドミニアムは、部屋一つひとつがとても大きく広々とした空間だった。お風呂と洗面所、寝室に壁がなく、つながっていることなど日本の家とは異なるところもあることに気づいた。キッチンには、人造大

理石のようなカウンターがついていて、とてもおしゃれに感じた。また、シャワー室がガラス張りであった。したがって、日本の習慣とは違って戸惑うこともあったが、部屋と部屋や螺旋階段にも仕切りがなく吹き抜けになっていたため、どこからでもみんなの声が聞こえて安心感もあった。アメリカン・スタイルのコンドミニアムは、日本の家にはなかなかない良さがあることに気が付いた。また、みんなと朝ごはんを作ったり、夜にはたくさん話をしたりして、いつもみんなと一緒に過ごし、初めて会う友達とも仲良くなることができた。

研修の一つとして参拝しに訪れたハワイの東本願寺の外見は、日本のような姿ではなかった。内装も畳ではなく椅子だったことや、仏花にはハワイの花を挿すなど洋風に工夫がされていた。ハワイで仏教のお寺に参る人がいるのだろうかという疑問に思っていた。しかし、講師の方の話を聞いて、この東本願寺は多くの人の支えになっていたということが分かった。また、東日本大震災が起きた際、東本願寺ハワイ別院を参ったハワイの人たちもいたということに、心を打たれた。

私は、ハワイ研修に参加して良かったと感じた。よって、ぜひ来年度以降もこのような研修を計画した方がいいと思う。なぜなら、私にとって、ハワイ研修はとても貴重な体験ばかりだったからだ。私はこのハワイ研修のおかげで、就職し働くということの自分の考え方が変わった。ただ働くというわけではなく、本当に自分の好きなことや、やりたいことを見つけて、それを仕事にしてきたハワイの講師の方を見て、私もやりたいことを見つけて働きたいと思えた。海外に憧れを抱いていた私にとって、このハワイで活躍する日本の方の話はとても刺激となった。そして今の自分を見つめ直し、将来、働く自分について考えることができた。したがって、今やらなければならないことを再確認できた。また、様々な種類の研修をして、それぞれの仕事のことについても知ることで、自分の将来の視野も広げる良い機会となった。これからの大学生活において、ハワイ研修で学んだことを活かして自分の将来を見据えて、資格取得にも挑戦し、就職活動を円滑に進めていけるようにしたいと私は考える。

(9) 1年生 A.Y

8月29日から9月5日にかけて、6泊8日のハワイ

研修が行われた。初めての海外、景色ひとつとっても日本と違い毎日が刺激的だった。

ハワイ研修で普段では体験することのできない体験、学習ができた。同じ日本の方が海外のハワイで自分の会社を持ち、働いている。すごく尊敬ができ、とても憧れる、そんな人たちから講義を聴くことができ、これから先の人生の選択肢が増えた気がした。講義をしてくださった皆さんは、それぞれ海外で仕事をするようになった、あるいはしたいと思うようになった経緯はバラバラではあったが、特に話に聞き入ってしまったのは東本願寺ハワイ別院で講義をしてくださったヒロコ・ブレンナさんの講義だ。ハワイにお寺があること事体、研修前ガイダンスを受けるまで知らなかったが、東本願寺ハワイ別院に着いてみると日本のお寺とは印象がすこし違うが、教会とお寺が一緒になったような気持ちの落ち着ける場所だと思った。そんな場所だからか、講師の先生方の話が自然に心に入ってきたような気がした。ヒロコ・ブレンナさんがハワイに行こうと思ったきっかけ、「日本の就職制度が気に入らない」、「会社のトップ、上に行くまでの時間が長い・・・私はせっかちなんで・・・」。正直、そんな理由で？という気持ちが強かったが、そんな考え方が浮かぶからこそ、今ハワイで活躍しておられると思う話だった。私も来年2年生になり、本格的な就職活動も始まる。ヒロコ・ブレンナさんが海外に行くことを決心される環境とほとんど同じになるはずだが、今の私には日本の就職制度が合わないから海外に行く！という気持ちはまず浮かばない。海外で一人でしかも日本語しか話すことができない。そんな状況で就職どころか、どうして生活ができるのか。もし私がヒロコ・ブレンナさんと同じように海外に行ったとしても、なにもできないまま日本に帰ってくると思う。自分に当てはめて考えてみると一代で自分の会社を作り上げ、社長を務めておられるヒロコ・ブレンナさんを、同じ女性として強く憧れ、尊敬できる。ヒロコ・ブレンナさんの講演を聞き、人生の選択肢が増え、就職活動へのやる気、家族の大切さなどいろいろなことを考え直すことができた。

他にもハワイ研修中には、日本では体験することのできないことをたくさん経験した。そのひとつがコンドミニアム宿泊体験。ハワイ研修のガイダンスを受けるまでコンドミニアムという言葉も聞いたことがな

く、いまいち想像もできていなかった。「朝ごはんは各班で作る、買い出しは各自スーパーで・・・」、「シンのディスプレイに注意」・・・など宿泊＝ホテルのイメージが強かったので、ガイダンスの時点ではどうなるのか不安が大きかったが、いざハワイに宿泊してみると研修4日目ということもあるのかアメリカン・スタイルでの滞在を楽しむことができた。4日目のコンドミニアム滞在からは、班単位の行動が増え、6人部屋での生活になったが、ロフト付きの大きな部屋、バストイレも2個付いていて、いい意味で一人になることなく、かといって窮屈なことなく会話も弾み、この研修を通して仲良くなった友人もできた。ハワイの大手スーパーでは日本との食料品のサイズの違いに驚きながらも、班の友人と朝ごはんを考えながらの買い出し、朝からみんなで協力して英語で書かれた調理法を訳しながらのご飯作り、コンドミニアム内のプールとジャグジー、コンドミニアムの向かいにあるショッピングセンターへの買い物など、コンドミニアムに滞在した3泊は研修前ガイダンスのときに不安を抱いていたことも忘れるほど楽しく充実したものになった。「このままの生活がいい」、「日本に帰りたくない、ハワイに住みたい」。班内でこんな会話が出るほど楽しいもので、研修が終わってしまうのが早く、残念だと思うほどに楽しい毎日だった。

私は今回のハワイ研修に参加して、本当にいい経験がたくさんできよかったと思う。普段は話を聞く機会のない、実際に海外のハワイに住みながら仕事をしておられるヒロコ・ブレンナさんをはじめ、特別講師をしてくださった皆さんの講義は、就職活動を控える私達にとってこれから先の将来の選択肢を広げるものとなった。入学式の翌日に行われた説明会の空き時間に流れていた昨年のハワイ研修の映像を見て、私はすぐにライフデザイン研究室にハワイ研修についての資料をもらいに行った。今考えてもそれは間違いではなかったと思う。日本を出てみて、日本の良いところもみることができた。そしてハワイの良いところを実際に肌で感じることができた。ハワイ研修中にお世話になったみなさんは本当に人柄がよく、6泊8日という長いような短い時間だったが、毎日充実した日々を過ごすことができた。これは私だけでなく、この研修に参加した他の学生も同じような気持ちだと思う。ぜひ来年もハワイ研修を開催して私達の後輩となる人たち

にも日本では味わえない経験をしてほしい。

(10) 1年生 M.Y

私は今回、8月29日から9月5日までハワイ研修に参加しました。この1週間の研修の中で、さまざまなことを経験し、いろいろなことを学びました。ハワイではたくさんの日本人がさまざまな場面で活躍されています。私たちはその方々からいろいろな話を聞きました。なかでも私が印象に残った話が4つありました。

一つ目は、ハワイで不動産会社社長をされているヒロコ・ブレンナさんのお話です。「生と死」という重いテーマでした。ヒロコ・ブレンナさんのお母さんが病気で入院されていて、きょうだい三人ともアメリカで活躍されているためなかなか顔を見に行けず、三人の忙しいスケジュールを合わせて交代で日本に帰っておられているという話を聞いて、きょうだいがすごく固い絆で結ばれているんだなと思いました。ヒロコ・ブレンナさんの今おかれている状況を聞き、涙が出そうになりました。私が今の家族の元に生まれてきたのも奇跡だし、こうしてたくさんの友達と出会えたのも奇跡で、一つひとつのこと、一瞬一瞬を大事にしなければならぬんだと考えさせられました。

二つ目は、シェラトンでアジア太平洋地区担当セールスマネージャーとして働いていらっしゃる平野真太郎さんのお話です。私はトラベルコースを取っていて、観光にとっても興味があります。平野さんの話を聞いてみると、やはりたくさんの経験を経て今があるんだなと感じました。ハワイでホテルに就職することは決して簡単ではないことを知りました。だけど、何事にも自分から挑戦して飛び込まなければ、何も始まらないんだなということも分かりました。私は、これからの人生の中でたくさん挑戦していきたいなと思いました。

三つ目は、アワビの養殖をしていらっしゃる新井宏さんのお話です。アワビの養殖をするには、気候や水といった点でハワイ島が一番適しているそうです。初代の社長はアワビ養殖場の見学ツアーをすることに大反対だったそうです。それはさまざまな技術が盗まれることを不安に思ったからでした。ですが、新井さんが社長になってから、アワビ養殖場の見学ツアーを始めたそうです。社員からは反対の声もあったようです

が、新井さんはこの世界でも優れているアワビの養殖技術をたくさんの人に見てほしいと思ったそうです。たとえ技術が盗まれても、それを実行して成功させるには10年かかるとおっしゃっていました。新井さんのその自信はすごいなと思いました。「たくさんの人に見てもらって、アワビの養殖をたくさんの人に知ってもらえれば嬉しい。」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。新井さんの話し方は、アワビを自分の子どものように可愛がっていることがすごく感じられて、大切に育てているんだなと思いました。実際に新井さんが作られたアワビをいただきました。とても美味しかったです。日本でも新井さんのアワビが食べられるのかという質問に対して、「旅館やレストランで、ハワイ産のアワビと書いてあったらそれは私のところのアワビです。」とおっしゃっていたので是非見つけてみたいと思います。

四つ目は、UCC ハワイ農園で働いていらっしゃる松尾潔さんと、三木秀樹さんのお話です。ここでは、コナコーヒー豆の収穫と焙煎体験をさせていただきました。コーヒー豆の実実は赤くなり、コーヒーチェリーと呼ぶそうです。コーヒーチェリーを食べてみると、甘さがありました。コーヒーの豆なのに、実になっているときは甘いということを知り、驚きました。焙煎体験では、焙煎具合によって色や味も変わってくることを知りました。ちょうど良い味にするにはタイミングが必要で、なかなか難しかったです。めったにできない体験をさせてもらったことが嬉しかったです。自分たちで挽いたコーヒーをいただけたので、是非、家で飲んでみたいと思いました。

そして次に、私たちはコンドミニアムというところで、自分たちで生活をするという体験をしました。コ



ンドミニアムでは、6人で生活をしました。朝起きるとき、誰かが起きなかったら誰かが起こしてあげる、早く起きた人が朝ごはんを作る、お風呂やドライヤーは順番に使う、など些細なことですが共同生活をしていく上でとても大切なことで、みんなで協力しないと成り立たないなと思いました。周りの人たちで支え合うことがいかに大切かをこの体験で知りました。

東本願寺ハワイ別院は日本からハワイに移り住んできた人たちが、寂しくないように相談できるようにということで作られたそうです。東本願寺ハワイ別院の椅子に座っているととても心地よくなりました。こんなところでもお互いに人と人が助け合いながら生活しているんだと感じることができ、嬉しかったです。

私は今回が初めての海外でした。今まで、日本にずっといたから分からなかったけど、海外に出てみると日本の良さ、いかに素晴らしいかをとても痛感しました。自分が生まれ育った国がどれだけ良い国なのか、これは海外に出てみないと決して分からないと思います。だから私は、来年以降も研修旅行を行ったほうがよいのではないかと思います。

Ⅳ 考察

これらの資料を基に、女子短期大学における海外研修は、どのように計画し実施する必要があるのかを考察する。

1. 日程

6泊8日という日程については、多くの学生があっという間に過ぎた期間という印象を持っていることから、長すぎるということはないと考えられる。一方で、5泊7日では、2島のプログラムを実施するには移動に時間がかかる割に現地での滞在時間が短すぎる。現在のプログラムを実施するには、6泊8日が妥当であると考えられる。もっと研修日程にゆとりを持たせるならば、オアフ島とハワイ島で各1日を追加し、自由に活動する時間や休息に使用する日を設定することも検討でき、参加学生の人数にもよるが、6泊8日のグループと8泊10日のグループ、7泊9日のグループなど、出発日と帰国日を選択できる方法を取ることも可能である。

2. 宿泊形態

本研修では、さまざまなタイプの宿泊施設を経験することも、トラベル分野や異文化理解を進める上で重要な要素であると考えている。そこで、オアフ島では、買物にも便利なワイキキの一等地に立地する高層マンション型コンドミニウムを最初の宿泊先として、2泊滞在した。コンドミニウムは、ワイキキの一般的なホテルに比べると部屋が広く、価格も手頃であることから、学生の満足度も高い。

ハワイ島では、最初にリゾートホテルに1泊した。ホテルは、レストランが完備され、プールやスポーツジムなどの共用施設が豪華であることが多い。また、ウェディングチャペルなどもあり、今回は模擬結婚式を研修の中に盛り込むこともできた。また、ホテルスタッフの仕事ぶりを観察することで、おもてなしの基本やアロハスピリットに裏付けされたホスピタリティを実感することができた。

ハワイ島の残り3泊は、一軒家型のコンドミニウムを利用した。ゴルフコースのフェアウェイ沿いに立つコンドミニウムは、高級な別荘に滞在しているような体験を提供する。また、キッチンやリビングの他に2・3部屋の寝室がついているような1軒に4～6人の学生が共同生活することで、新たに育まれる友情や譲り合い・思いやりといった人間的な成長が見込まれる。

2010年度は、先にハワイ島で一軒家型コンドミニウムに4泊し、オアフ島に移って高層マンション型コンドミニウム2泊するという、2011年度とは順番を入れ替えた形で行った。これにより、研修旅行の後半にワイキキでのショッピングを入れることが可能となり、学生のショッピングに対する満足度は少し上がることがわかった。ただし、宿泊形態から見ると、ワイキキのコンドミニウムが十分に広いとはいえ、一軒家型のコンドミニウムを体験した後に利用すると、狭く感じる部屋になってしまったという印象で、宿泊に対する満足度はかなり下がってしまった。

これらの点を総合的に考えると、2011年度に実施した順番で、宿泊する空間がだんだん大きくなるようにプログラムするのが良いと考えられる。

3. 研修内容

ハワイで現地の人々に協力してもらっての研修は、どれも学生に好評である。それぞれの研修の特徴と研

修効果について詳細に述べていく。

(1) 東本願寺ハワイ別院参拝

東本願寺ハワイ別院に参拝し講話を聴くことで、ハワイにおいても仏教の信仰が大切に守られていることを学んだ。本学が真宗大谷派の大学であるため、京都でも東本願寺に参拝する機会があり、学生にとって寺は特に珍しいものではない。しかし、ハワイの東本願寺が100年以上も前に、日本からハワイへ移民した人々の願いによって創建され、今もアメリカ社会の中で人々の心の支えとして存在していることを学び、人が生きていくうえで宗教が大切であることについて改めて考える機会となった。

また、学生たちを温かく迎えてくれる住職をはじめお寺のみなさんに接し、ハワイという外国の地にまるでいつでも立ち寄れる、居心地の良い祖父母の家を見つけたようなそんな親近感を得ることができた。

(2) カハラ地区の豪邸見学 (インテリア・住居)

カハラ地区の豪邸を見学することにより、その広さ、間取り、インテリアコーディネートについて学ぶことができた。アメリカでの不動産の見学をすることで、家具の選び方や配置、壁紙や装飾品の選択など、日本とは違った感覚を磨くことが可能となる。

また、実際にすぐにも生活を開始できる売り家を見学することで、生活感のあるイメージが形成され、学生各自のライフデザインに将来海外でこのような家に住むという選択肢が加わり、日本での生活や勉学に対するモチベーションが上昇する効果があった。

(3) モアナルア・パークでのBBQとウクレレ (環境・文化)

日立のCM、「この木、何の木、気になる木」で有名なモンキーポッドの樹があるモアナルア・パークで、



バドミントンやバレーボールなどをしながら、ハワイの市民に愛される、無料で公開されているアロハスピリットあふれる公園でひと時を過ごした。ウクレレ奏者を招き、ハワイアの生演奏を楽しむことで、ハワイ王朝から続く公園の歴史について学んだ。

また、モアナルア・パークが新しい試みとして実施しているBBQパーティを開催することで、公園の維持費獲得にも貢献できた。

(4) ハワイの大学生との懇親会(ライフデザイン・国際交流)

ハワイの大学生と懇親会を持つことで、日本人学生たちは、コミュニケーションで言葉が十分に通じなくても伝えたい気持ちが大切であることを学んだ。また、少しでもコミュニケーションできた時の喜びを体験し、外国語の習得へのモチベーションを上げることが可能となった。

(5) ハワイで企業した女性のレクチャー(ライフデザイン)

不動産業界で彗星のごとく現れ、活躍している日本人女性企業家から、ハワイのビジネスで成功する秘訣を学んだ。また、このレクチャーにより、人生の岐路に立った時、何を基準に判断をすればよいかなど、具体的な人生の指針をつかむコツも学べた。

2011年度の講演では、「生と死」のようなテーマで、「生きている間にすべきこと」を講師の家族に起っている現在進行形の話題を取り上げた。これにより、学生たちに命の重さと家族や兄弟の絆の大切さを考える機会となった。

(6) 海洋生物についてのレクチャー(生物・環境)

米国人の海洋学者によるマンタについてのレクチャーを実施した。ここでは、英語でのレクチャーに通訳を入れた。この研修の中で、学生たちが最も英語のシャワーを浴びた時間であった。

同時に、ジェスチャーや表情、間の取り方など、米国人の洗練されたプレゼンテーションを目の当たりにし、プレゼンテーションを学ぶ学生の良い刺激となった。

(7) ホテルでのディナー体験(フード・トラベル)

ホテルでのディナーコースを体験し、テーブルマナーを学んだ。また、ハワイにちなんだ食材をホテル

のシェフがいかに調理するかという観点や、レストランのスタッフがサーブしたり、自然に学生をエスコートしたりするのを見ることで、レディファーストを前提としたアメリカのレストランでの常識を学ぶことができた。

学生には、良い雰囲気の中でおいしい料理が体験できたことも好評であった。

(8) ハワイのブライダル(ブライダル・ファッション)

この研修にはハワイ島にある日系ウェディング会社の協力により実現した。

2010年度はホスピタリティにアロハスピリットを注ぎ込んだリゾートウェディングについて、実際の状況を写真などで再現しながらレクチャーを受けた。2011年度は、リゾートホテルの海辺のチャペルを研修会場とし、学生の希望者を花嫁に仕立てて模擬結婚式を実施した。

フラワーシャワーの準備をしたり、模擬挙式に参列したりすることで、参加者全員がリゾート挙式を具体的にイメージすることが可能となった。

(9) ハワイのホテル業(トラベル・フード・ビジネス)

海外ホテルで勤務する日本人に、ホテルスタッフの役割や組織、ホテルスタッフにとって必要な知識やホスピタリティについて学んだ。またホテルの施設を見学しながらのレクチャーを受け、厨房見学など普段では見ることのできない施設の奥まで入ることで、スタッフの仕事を学ぶことができた。

(10) 地球と宇宙の話(環境・天文)

屋外の満天の星空の下で、宇宙と星の話についてネーチャーガイドからレクチャーを受けた。流れ星も見ることができ、天然のプラネタリウムで、宇宙の大きさ、悠久の歴史を感じることができた。

ハワイ島の星の多さを実感しながら、地球規模での考え方から宇宙規模への考え方へと学生の意識が拡大していくことにより、普段の生活で忘れがちな大きな視点から、自分自身を見つめ直す機会を得た。

(11) アワビの養殖ビジネス(フード・ビジネス・環境)

海外での会社設立から苦勞して成功を取めた日本人経営者の全面協力で、アワビ養殖場を実際に見学しな

から説明を受けた。養殖場は、ハワイ州立自然エネルギー研究所 (NELHA) 内にあり、ハワイ島コナの近海で深さ 900m から汲み上げる海洋深層水のタンクで、同じくミネラルをたっぷり含んだ海草を餌に育つきれいなアワビを育てることに成功した。2010年にはハワイのテレビに取り上げられるほど、ビジネス面での成功例としても現地で取り上げられている。この経営者のここまで11年間の苦労と努力に裏付けられたライフデザインの話は、社会人基礎力の「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」のすべての能力に対して刺激を与え、その言葉がしっかりとした重さを持って学生に伝わるといえる点が効果的であった。

また、前日の夕食にこのアワビを BBQ と刺身で提供したところ、研修当日の見学のモチベーションを高める効果がみられた。味と品質にこだわった生産者の意気込みが、参加学生の将来を力強く後押ししてくれる研修となった。

(12) コーヒーの話 (フード・ビジネス)

世界三大コーヒーのひとつ、コナコーヒー農園で、食品の観点からの農園見学を通じてコーヒーの栽培について学び、焙煎体験を通じてコーヒーを美味しく飲むコツなどを学んだ。高台にある美しいコーヒー農園で、ハワイの移民の歴史や、サトウキビから始まってコーヒーの栽培に至る過程などを学ぶことができた。



4. まとめ

本学科では、女子短期大学生にとって参加しやすく、効果の高い海外研修のありかたを考え、2010年度と2011年度の2回、世界の縮図といわれるハワイを研修の地として8日間の海外研修を実施した。ハワイの自然の中で育まれたフード・トラベル・ビジネス・ブライダル・ファッション・インテリア・環境などライフデザインに関わる様々な分野について学習し、各分野において現地で活躍中の人々を講師に招きレクチャーを受けることができた。また、学生が企画・準備をして現地の人々との BBQ パーティを開催することで、現地での交流を深めることにも成功した。

この研修を通じて、外国から日本を見ることを体験し、学生一人ひとりが新たな観点でライフデザインを考えるきっかけとなった。同時に、キャリア教育への動機を高め、世界を舞台に活躍する人をモデルに、将来の目標を具体的に考えはじめる良い機会となった。

現地の人々の積極的で献身的な協力なしには、実現しない研修であるが、それだけにかげがえのない研修プランが完成したと言えよう。

また、約1週間にわたり学生たちが一緒に行動することで、一種の合宿を行ったような学生同士の協力体制や思いやりの心が育まれた。もともと親しかった友人とはもっと信頼関係を深く築くことができ、この研修で知り合った他の学生とも強い連帯感を感じ、一生付き合える仲間を作ることができたようである。

慣れない海外での生活を体験し、日本での恵まれた環境を振り返りつつ、感謝の念も強く意識された。このように、人間的な成長ができたと感じた学生が多く、海外に出て研修することが、日本だけで学ぶよりも数倍早く、数倍強く成長する効果があることがわかった。

5. 今後の課題

本研修については、出発前に3回のオリエンテーションを実施しているが、これだけでは十分な事前研修を実施しているとは言い難い状況である。松田(2007)は、事前研修が目的意識を高めるために重要であると述べている。本研修では20人以下の学生を対象として実施しているので、一人ひとりに目が届きやすく、学生の満足度も高く維持できている。これが40名以上の研修旅行となる場合は、英会話の含め、異文化体験の心構えや海外での生活についての注意事

項など5～15回の事前研修を実施することが必要となろう。

また、研修内容を充実するために、スケジュールがタイトになる傾向があることにも注意してプログラムを改善する必要があるだろう。これには、旅行日数を増やすことも視野に入れて検討することが有効であろう。

V 引用文献

中央教育審議会大学分科会留学生部会 2003 留学生部会における指摘事項に係る資料

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/gijiroku/007/03050201/008.htm

今村朋子・篠原重紀子・神崎恭子：ICC 国際交流委員会編 2001 大学生のための就職に強い留学 三修社

経済産業省編 2006 社会人基礎力

http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/kisoryoku_image.pdf

小林明 2011 日本人学生の海外留学阻害要因と今後の対策 留学交流 2011年5月号 Vol.2 pp.1-17

<http://www.jasso.go.jp/about/documents/akirakobayashi.pdf>

松田康子 2007 短期海外研修の意義とその事前研修について 名古屋文理大学紀要 第7号 pp.45-50

文部科学省 2010 「日本人の海外留学者数」について

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/12/_icsFiles/afieldfile/2010/12/22/1300642_1.pdf

文部科学省編 2002 「英語が使える日本人」育成のための戦略構想の策定について

http://www.mext.go.jp/b_menu/soshiki/daijin/f_020714.htm

辻野孝・森際孝司・相場浩和・美濃順亮 2003 女子短期大学における海外留学制度に関する一考察 京都光華女子大学短期大学部研究紀要 第41集 pp.19-40